

フィリピン

主要データ

国名〔英名〕	フィリピン共和国〔Republic of the Philippines〕
面積(km ²)	300,000
海岸線延長(km)	36,289
人口(百万人)	101.8
人口密度(人/km ²)	339.3
GDP(百万US\$)	188,719
一人当りGDP(US\$)	2,007
主要鉱産物：鉱石	金、銀、銅、ニッケル、亜鉛、クロム
主要鉱産物：地金	銅、亜鉛、セレン
鉱業管轄官庁	環境天然資源省(Department of Environment and Natural Resources: DENR)
鉱業関連政府機関	鉱山地球科学局(Mines and Geosciences Bureau: MGB)
鉱業法	1995年フィリピン鉱業法(共和国法第7942号)
ロイヤルティ	-
外資法	1987年オムニバス投資法(共和国法第226号) 1991年外国投資法(共和国法第7042号) 1995年特別経済区法(共和国法第7916号)
環境規制法(環境影響調査制度、環境・排出基準の有無等)	-
鉱業公社	フィリピン鉱山開発公社(PMDC: Philipinnes Mining Development Corporation)
鉱業活動中の民間企業	Philex Mining Co.、Lepant Consolidated Mining Co.、Benguet Corp.、Atlas Consolidated Mining and Development Co.、Nickel Asia Co.、住友金属鉱山株式会社、大平洋金属株式会社、Xstrata
近年の鉱業関連問題(資源ナショナリズム、労働争議、環境問題等)	2010年10月、南コタバト州政府による露天採掘開発を禁止する州法を施行 2010年末、ロンブロン州による鉱業活動を一時停止する州知事令発令
2010年のトピックス	2010年のフィリピンの鉱業投資額は前年比32.8%増の9.56億US\$となり、今後の投資の伸びも期待できることから、MGBの予測では2016年の投資額は180億US\$に達するものと予想されている。

1. 鉱業一般概況

- ・2010年のフィリピンにおける鉱業投資額は9.56億US\$となり、2009年の7.2億US\$から32.8%増加した。これは2005年の外国投資規制緩和開始以降、最高額となる。また、鉱業総生産額も前年比38%増の30.8億US\$となり、フィリピン鉱業は好調な結果となった。2011年も引き続き、Metals Exploration PlcによるRunruno金プロジェクト、Benguet Corp他によるKingking金プロジェクト、南アGold Fields他による金・銅プロジェクトなどの大型投資が予定されており、鉱山地球科学局(MGB)は14億US\$の投資額を見込んでいる。今後、XstrataのTampakan銅・金プロジェクト

の 59 億 US\$ の投資を始めとした銅、金、ニッケルを中心とした開発プロジェクトが、今後多数立ち上がる計画であり、この傾向は当分続くものと見られ、MGB の予測では 2016 年の投資額は 180 億 US\$ に達すると予想されている。

- ・住友金属鉱山が、2009 年 4 月に竣工した Palawan 島 Coral Bay HPAL 第 2 号プラントの建設に続き、2009 年 9 月、Mindanao 島 Taganito HPAL プロジェクト実施を決定。年産能力ニッケル純分 30kt、総投資額 13 億 US\$、2010 年 3 月工事に着工した。2013 年 8 月商業生産開始を目指している。さらに 2010 年 9 月、本プロジェクトに三井物産と Nickel Asia Co. (NAC) が出資参画することで合意し、両社の参画後の出資比率は、住友金属鉱山 62.5%、Nickel Asia Co. 22.5%、三井物産、15.0% となる。
- ・Mindanao 島 Tampakan 銅・金鉱山開発プロジェクト (Xstrata 62.5%) は、プレ FS 調査では精測・概測・予測鉱物資源量合計 21.8 億 t、平均品位 Cu 0.591%、Au 0.231g/t、Mo 0.007%、開発費 52 億 US\$、年産銅 34 万 t、金 35 万 oz (10.9t)、マインライフ 20 年を想定している。2009 年 Q3 から FS を 7,400 万 US\$ の予算で実施し、2010 年 4 月に結果を政府に報告した。政府からの許可等を受けた上で 2012 年開発開始、2016 年フル生産を計画しているが、南コタバト州政府の露天採掘禁止措置によりストップしている。このような状況に関連し、2011 年 6 月に本プロジェクト・オペレーター会社の Sagittarius Mines Inc は、地元関係者に対する環境影響内容の説明会を開催の上、地元からの要望を、2011 年後半に政府へ提出予定の環境影響評価書に反映させる方針を示している。説明会は約 1,200 人の地元関係者に対し今後 12 週間の間に約 50 回行われ、最終的に 4 つの州 (南コタバト、南ダバオ、スランガニ、スルタン・クダラット) でのパブリック・ミーティングの総会でまとめられる予定となっている。
- ・2010 年 7 月、世界銀行 Group の IFC が Mindoro Resources Ltd. に対し約 210 万 C\$ (約 210 万 US\$) を出資することで基本合意した。また、同社はワラント付普通株式の発行により約 120 万 C\$ (約 120 万 US\$) を調達しており、これらの資金を Mindanao 島 Agata ニッケルプロジェクトの探鉱に充て、資源量 3,070 万 t、品位 Ni 1.1%、Co 0.06% の同プロジェクトの資源量を 1 億 t 規模に発展させることを目指している。同社は、IFC の出資を受け、環境及び地域社会の持続的発展に配慮した鉱業開発を進めていくとコメントしている。
- ・2011 年 7 月、フィリピンの投資持株会社である SM Investment Corp 社は、フィリピン Carmen 銅鉱山の権益を所有する Atlas Consolidated Mining and Development 社の株式 17.9% を取得した。株式取得額は 1 億 4,220 万 US\$ で、同資金は Carmen 銅鉱山の共同所有者であるシンガポール Crescent Asian Special Opportunities Portfolio 社が持つ 45.54% の権益取得資金 3 億 9000 万 US\$ の一部に充てられる予定である。この買収は、銅を始めとする金属価格の上昇や、Carmen 銅鉱山は同社の主要市場である中国、韓国に近い点で投資に有利な条件を兼ね備えているものと判断し投資に至ったとしている。
- ・英 Copper Development Corp は、フィリピン Taysan 銅・金プロジェクトの権益を持つ Crazy Horse Resources 社の株式 667 万株 (全株式の 11.8%) を私募により取得したと 2011 年 7 月発表した。株式取得額は 500 万 C\$ (約 500 万 US\$)。今後はカナダ証券取引法に基づく承認手続きに入る。また、CDC 社は、今後 5 年間、プロジェクトへの追加投資を行うことにより、今回取得した権益比率を維持する権利も持つようになる。CDC 社は、フィリピンにおける既存の 2 つの銅プロジェクト、Hinoba-an プロジェクト及び Basay プロジェクトに加え、Taysan 銅・金プロジェクトに参入することにより、フィリピンでの銅事業を拡大する戦略。Taysan 銅・金プロジェクトは、マニラの南約 100 km に位置するポーフィリー型鉱床であり、これまでのスコーピングスタディによれば、マインライフ 24 年、予測資源量 9 億 4,400 万 t、銅品位 0.23%、金品位 0.11g/t (カットオフ銅品位 0.1%) と評価されている。
- ・上記の各プロジェクトの他、豪 OceanaGold Corp の Didipiro 銅・金プロジェクト、豪 Red 5 Ltd. の Siana 金プロジェクトなどが鉱山建設段階となっている。

- ・他方、拡大する鉱業に対し、地方の環境問題意識が急激に高まりを見せており、鉱業活動に対し地方政府による厳しい規制も執られるなどの投資リスクも存在している。2010年10月、ミンダナオ島南コタバト州政府は Xstrata の Tampakan 銅・金プロジェクトも含んだ露天採掘による開発を禁止する州法を施行した。これに対しフィリピン中央政府は、同州政府及び州議会に対し、中央政府の鉱業法と相反する内容となるこの州法の施行を停止するよう求めてきたが、同州政府は、この禁止措置は州議会を通じ正式な手続きを経て制定されたものであり、州法の改正又は裁判所からの州法の無効裁定がなされない限り解除されないという方針を出しており、現時点で未だ解除するめどは立っていない。2010年末にはフィリピン中央部のロンブロン州においても、鉱業活動による環境問題を懸念し、州内の鉱業活動を一時停止する州知事令を発した。適用対象事業は、金属鉱物に係る探鉱、採掘、選鉱、製錬事業で、不法採掘によって河川や土壌の水銀汚染が表面化していることから、今回の規制に至ったものとされる。同時に、同州政府はタスク・フォースを立ち上げ、全21件の州内の鉱業関連の申請案件、許可済案件を再評価することにしており、この中には、豪 Pelican Resources 社と地元企業との JV となる Sibuyan ニッケルプロジェクトも含まれている。

2. 鉱業政策の主な動き

- ・2010年6月、Lorenzo Erin Tanada 議員は、改正鉱業法案を国会に提出した。この法案は、フィリピン国内への利益を拡大、特に鉱業地域における地域社会への利益還元を大きく取り上げた内容となっており、中央政府への鉱業権益 10%移譲、地域住民に総収入の 10%を還元、権益 60%の国内資本化などの義務付けや、最大鉱区を 750ha から 500ha への縮小、鉱業契約内容の公開などの透明性確保などが盛り込まれ、資源ナショナリズム的な要素が強い内容となっている。これに対し、業界側となる鉱業協会は、当然のことながらこの法案に反対を表明している。現在までに法案に対する採決は行われていない。
- ・鉱業ロイヤルティに関し、環境天然資源相は 2010年12月に、今後、鉱山会社に対し総利益の 5%相当のロイヤルティを課す方針を示している。現フィリピン鉱業法では、戦略的鉱物資源として政府が指定したものについて、鉱山会社に対し最大 5%のロイヤルティを課することができる規定があるが、実際は適用されてこなかった。今後、原則としてすべての鉱物資源についてロイヤルティを課す方針であるとして、政府内で検討を始めた模様。実際の導入においては、法律の改正は伴わないため、可能な限り早期に実施する予定であるとコメントしている。

3. 主要鉱産物の生産・輸入・消費・輸出動向

(1) 主要金属鉱石生産量

表 3-1. 金属鉱石生産量

鉱種	2008年	2009年	2010年	対前年増減比 (%)
銅(千t)	21.2	49.6	58.5	17.9
亜鉛(千t)	1.5	10.2	9.6	-5.9
ニッケル(千t)	83.9	143.5	186.4	29.9
金(t)	35.6	37.0	39.3	6.2
銀(t)	12.7	17.5	22.5	28.6
クロム(千t)	14.2	11.6	28.9	149.1

(出典：World Metal Statistics Yearbook 2011)

(2) 主要金属地金生産量

表 3-2. 金属地金生産量

鉱種	2008年	2009年	2010年	対前年増減比 (%)
銅(千 t)	174.6	177.6	176.0	-1.0
鉛(千 t)	34.0	34.0	34.0	0.0
セレン(t)	45.0	46.0	46.0	0.0

(出典: World Metal Statistics Yearbook 2011)

(3) 主要金属消費量

表 3-3. 金属地金消費量

鉱種	2008年	2009年	2010年	対前年増減比 (%)
銅(千 t)	34.0	34.0	34.0	0.0
鉛(千 t)	34.9	34.7	37.0	6.6
亜鉛(千 t)	9.7	7.6	16.2	113.2
錫(千 t)	0.2	0.1	0.1	0.0
アルミニウム(千 t)	16.3	16.2	16.3	0.6
ニッケル(千 t)	0.1	0.1	0.0	皆減

(出典: World Metal Statistics Yearbook 2011)

(4) 主要金属輸出入

表 3-4. 金属精鉱及び地金輸出入量 (マテリアル量)

鉱種	2008年	2009年	2010年	対前年増減比 (%)	主な輸出相手国 (3か国程度)	HSコード*
銅鉱(千 t)	110.3	164.0	292.3	78.2	中国、日本、韓国	260300
鉛鉱(千 t)	0.2	0.2	0.4	116.0	中国、台湾	260700
亜鉛鉱(千 t)	1.9	28.7	24.9	-13.2	韓国、台湾、香港	260800
ニッケル鉱(千 t)	6,067.9	8,664.7	13,160.2	51.9	中国、日本、豪州	260400
マンガン鉱(千 t)	6.3	6.6	4.9	-26.0	中国、インド、UAE	260200
クロム鉱(千 t)	249.3	489.2	118.6	-75.8	中国、日本、韓国	261000
希土類金属、スカンジウム及びイットリウム(t)	107.4	80.9	61.1	-24.5	日本、カナダ、米国	280530
銀(t)	60.4	88.0	28.4	-67.8	マレーシア、イタリア、タイ	710610, 710691, 710692
金(t)	89.3	67.2	922.6	1,273.1	日本、台湾、香港	710811, 710812, 710813
フェロクロム(千 t)	0.3	0.3	0.0	皆減	—	720241, 720249
フェロニッケル(千 t)	1.6	0.1	0.0	皆減	—	720260
精製銅(千 t)	181.5	151.8	107.8	-29.0	タイ、中国、ベトナム	740311, 710319
アルミニウム(千 t)	1.2	0.9	1.1	33.9	日本、韓国、ベトナム	760110
鉛地金(千 t)	0.0	0.4	0.1	-71.1	インドネシア、韓国	780110
亜鉛地金(千 t)	0.1	0.5	0.1	-77.8	インド、マレーシア	790111, 790112

(出典: World Metal Statistics Yearbook 2011)

(5) 主要金属輸入量

表 3-5. 金属精鉱及び地金輸入量

鉱種	2008年	2009年	2010年	2010年増減比(%)	主な輸出相手国(3か国程度)	HSコード
銅鉱(千t)	621.6	698.0	638.6	-8.5	パプアニューギニア、豪州、インドネシア	260300
ボーキサイト(千t)	0.5	0.1	0.3	200.0	中国、インド	260600
マンガン鉱(千t)	0.0	0.6	0.0	-96.0	香港	260200
クロム鉱(千t)	2.2	0.0	0.0	0.0	-	261000
チタン鉱(千t)	1.8	0.8	2.7	226.6	タイ、豪州、ウクライナ	261400
希土類金属、スカンジウム及びイットリウム(t)	6.6	0.0	0.0	0.0	-	280530
セリウム化合物(t)	135.3	20.9	2.0	-90.5	フランス、マレーシア、日本	284610
希土類金属の無機又は有機化合物(セリウム化合物除く)(t)	8.0	1.0	0.1	-90.5	日本、韓国	284690
水銀(t)	7.7	96.3	33.5	-652	スペイン、オランダ、米国	280540
コバルト酸化物・水酸化物(t)	3.1	0.0	2.4	皆増	シンガポール	282200
銀(t)	0.5	0.5	2.3	319.3	ドイツ、韓国、米国	710610, 710691, 710692
金(t)	20.3	11.1	28.0	150.8	日本、マレーシア、ドイツ	710811, 710812, 710813
フェロマンガン(千t)	6.7	2.5	2.4	-4.5	インド、豪州、バーレーン	720211, 720219
フェロシリコマンガン(千t)	3.2	3.0	4.5	43.2	インドネシア、インド、中国	720230
フェロクロム(千t)	0.2	0.4	0.2	-54.2	スウェーデン、台湾、中国	720241, 720249
精製銅(千t)	8.1	6.5	7.7	17.4	韓国、豪州、インドネシア	740311, 740319
アルミニウム(千t)	1.8	2.5	4.2	68.9	豪州、UAE、マレーシア	760110
鉛地金(千t)	0.8	0.9	2.7	200.8	中国、韓国、台湾	780110
亜鉛地金(千t)	9.8	8.1	16.3	101.9	日本、韓国、カナダ	790111, 790112

(出典: World Metal Statistics Yearbook 2011)

4. 鉱山・製錬所状況

表 4-1. 鉱山一覧

鉱山名	権益所有企業(権益: %)	鉱種	生産量	備考
Padcal 鉱山	Philex Mining Co. (100)	銅(精鉱中含量) 金(精鉱中含量) 銀(精鉱中含量)	16,157t 4,153kg 4,096kg	2010年生産実績
Atlas Tledo (Carmen) 鉱山	Atlas Consolidated Mining and Development Co. (65.53)、Crescent Asian Special Opportunities Portfolio (34.47)	銅(精鉱中含量) 金(精鉱中含量) 銀(精鉱中含量)	27,241t 184kg 1,391kg	2010年生産実績
Rapu-rapu	LG Group International (42) Korea Resources Co. (28)、Malaysia Smelting Co. Berhad (30)	銅(精鉱中含量) 亜鉛(精鉱中含量) 金(精鉱中含量) 銀(精鉱中含量)	5,972t 9,268t 705kg 10,480kg	2010年生産実績
Ganatuan 鉱山 (Sulphide project)	TVI Pacific Inc. (100)	銅(精鉱中含量) 金(精鉱中含量) 銀(精鉱中含量)	9,042t 198kg 15,389kg	2010年生産実績
Lepanto 鉱山	Lepanto Consolidated Mining Co. (100)	銅(精鉱中含量)	-	2010年は銅精鉱生産休止
Banahaw 鉱山	Philsaga Mining Co. (100)	金	3,225kg	
Masbate 鉱山	CGA Mining Ltd. (100)	金	5,536kg	2009年生産実績
Rio tuba 鉱山	Nickel Asia Co. (60) (うち住友金属鉱山 25)、大平洋金属 (36)、双日 (4)	ニッケル(鉱石中含量)	16,648t	Coral Bay Nickel Co. への販売分含まず
Taganito 鉱山	Nickel Asia Co. (65) (うち住友金属鉱山 25)、大平洋金属 (33.5)、双日 (1.5)	ニッケル(鉱石中含量)	15,299t	2010年生産実績

Cagdianao 鉱山	Nickel Asia Co. (100) (うち住友金属鉱山(25))	ニッケル(鉱石中含量)	4,494t	2010年生産実績
Taganaan 鉱山	Nickel Asia Co. (100) (うち住友金属鉱山(25))	ニッケル(鉱石中含量)	18,992t	2010年生産実績
South Dinagat 鉱山	Nickel Asia Co. 100 (うち住友金属鉱山 25)	ニッケル(鉱石中含量)	2,539t	2007年生産実績
Cagdianao 鉱山	Platinum Group metals Co. (100)	ニッケル(鉱石中含量)	32,807t	2010年生産実績
Adlay-Cagdianao-Tandawa (ACT) Nickel Project	CTP Construction & Mining Co.	ニッケル(鉱石中含量)	31,406t	2010年生産実績
Carrascal Nickel Project	CTP Construction & Mining Co.	ニッケル(鉱石中含量)	22,424t	2010年生産実績
Tubay Ni-Co Project	SR Metal Inc.	ニッケル(鉱石中含量)	5,635t	2010年生産実績
Nonoc Ni Project	Shuley Mine Industry	ニッケル(鉱石中含量)	3,475t	2010年生産開始
Tandawa Ni Project	Shenzhou Mining Group Corp	ニッケル(鉱石中含量)	1,808t	2010年生産開始
Dahican Ni Project	CTP Construction & Mining Corp	ニッケル(鉱石中含量)	224t	2010年生産開始
Cantilan Ni Project	Marcventure Mining & Development Corp	ニッケル(鉱石中含量)	467t	2010年生産開始
Berong 鉱山	Toledo Mining Co. (56.1) Atlas Consolidated Mining and Development Co. (25.2) European Nickel PLC (18.7)	ニッケル鉱石	-	2010年生産休止

表 4-2. 製錬・精製所生産状況

名称	権益所有企業(権益:%)	鉱種・形態	生産量	備考
Pasar 製錬所	Glencore International AG (78)	銅カソード	176kt	2010年生産推計
Coral Bay HPAL Plant	住友金属鉱山(54)、三井物産(18)、双日(18)、Rio Tuba Mickel Mining Co.(10)	ニッケル(ニッケル・コバルト混合硫化物中含量)	19,312t	2010年生産実績

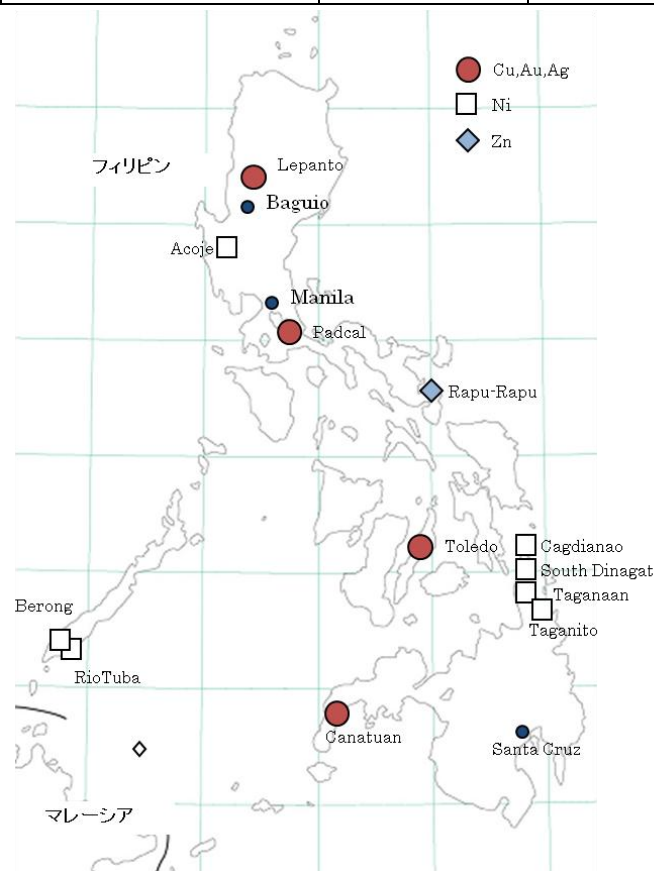


図 1. 主要鉱山、探鉱プロジェクト位置図

5. 探鉱状況

銅、ニッケルを中心に、プロジェクトが多数実施されている。主なプロジェクトは以下のとおり。

表 5-1. 主な探鉱プロジェクト一覧

プロジェクト	企業	鉱種	ステージ	場所 (州)
Nonoc	Jinchuan Group (中)	ニッケル、コバルト	FS	Surigao del Norte
King King	St Augustine Gold and Copper Ltd (米)	銅、金	FS	Mindanao
Hinoba-an	Copper Development Corp (英)	銅、金、モリブデン	FS	Negros
Tampakan	Xstrata	銅、金、モリブデン	FS	Mindanao
Mindoro	Intex Resources ASA (ノルウェー)	ニッケル、コバルト 他	FS	Palawan
Celastial	Toledo Mining Corp (英)	ニッケル、コバルト	FS	Palawan
St Anthony	Solfotara Mining Corp (加)	銅、金	鉱石量評価	Luzon
Agata	Mindoro Resources Ltd (加)	ニッケル、コバルト、 金、銅、鉄	鉱石量評価	Mindanao
Taysan	Crazy Horse Resources Inc (加)	銅、金、銀、鉄	鉱石量評価	Luzon
Basay	Copper Development Corp (英)	銅	鉱石量評価	Negros
Mankayan	Bezant Resources (豪)	銅、金、銀	鉱石量評価	Luzon
Romblon	Pelican Resources (豪)	ニッケル、コバルト、 鉄	鉱石量評価	Romblon (Sibuyan 島)
Comval	Cadan Resources Corp (加)	銅、金、銀	鉱石量評価	Mindanao
Zambales Chromite	ENK plc (英)	ニッケル、クロム、 白金族、コバルト	鉱石量評価	Zambales
Tawi-Tawi	Solfotara Mining Corp (加)	銅、金	鉱石量評価	Luzon
Kilong-Olao	Solfotara Mining Corp (加)	銅	鉱石量評価	Luzon
Pan de Azucar	Mindoro Resources Ltd (加)	銅、金、銀、鉄	探鉱	Iloilo
Kalayaan	Philex Mining Corp (比)	銅、金	探鉱	Surigao del Norte
Lingig	Medusa Mining Ltd (豪)	銅	探鉱	Mindanao

6. 我が国との関係

(1) 日本への輸出

表 6-1. 日本への精鉱及び地金輸出力

鉱種	2008年	2009年	2010年	対前年増減率
金地金 (t)	0.5	0.2	0.4	174.1%
銀地金 (t)	6,471.5	681.0	1,952.2	286.7%
クロム鉱石 (t)	5,103.0	2,850.0	10,055.0	352.8%
スズ地金 (t)	79.4	20.2	29.4	145.6%
タングステン地金 (t)	2.1	2.1	2.2	105.1%
銅鉱石 (千 t)	77.3	66.4	72.0	-99.0%
銅地金 (千 t)	4.6	0.2	0.9	108.3%
粗銅及びアノード (千 t)	16.3	-	-	454.5%
ニッケル鉱石 (千 t)	1,009.6	885.5	1,301.4	147.0%
酸化ニッケルその他中間生産物 (千 t)	20.6	32.6	36.6	112.1%
マンガン鉱石 (t)	54	136	62	-54.4%
白金族金属 (kg)	344.1	0.1	372.0	3,720.0%

(出典：財務省貿易統計)

(2) 日本企業による投資状況等

- 住友金属鉱山が主体となっている Palawan 島 Coral Bay HPAL 第 2 号プラントが、2006 年 3 月の着工以来 3 億 700 万 US\$ の予算で 2009 年 4 月竣工、稼働を開始した。ニッケル・コバルト混合硫化物年産能力はニッケル純分 1.2 万 t、第 1 号プラントと合計すると 2.2 万 t となった。

- ・ 住友金属鉱山は 2009 年 9 月、Mindanao 島 Taganito 地区において HPAL プラント建設を実施すると発表し、2010 年 3 月建設に着工した。2013 年 3 月工事完了、試運転を経て同年 8 月商業生産開始を計画している。投資総額 13 億 US\$、年産能力ニッケル 3 万 t、コバルト 2,600t を予定しており、稼働中の Coral Bay HPAL プラントと合わせて、5.2 万 t のニッケル原料をフィリピンで確保することとなる。2010 年 9 月、Taganito ニッケルプロジェクトに三井物産と Nickel Asia Co. (NAC) が出資参画することで合意し、両社参画後の出資比率は、住友金属鉱山 62.5%、Nickel Asia Co. 22.5%、三井物産、15.0%となる。住友金属鉱山は 2009 年 8 月、NAC への出資比率を 25%に引き上げており、フィリピンで 6 カ所のニッケル鉱山権益を所有する NAC の今回のプロジェクトへの参画、連携により、同国のニッケル事業をより強固なものにする。

7. その他トピックス

2010 年 5 月の大統領選挙において Benigno Simeon C. Aquino Ⅲ氏が勝利、7 月に大統領に就任した。同大統領は、Mindanao 和平を重点課題の 1 つに挙げ、イスラム急進派、モロ・イスラム解放戦線 (MILF)、比共産党との和平交渉早期再開を施政方針演説で掲げており、2011 年 2 月、フィリピン政府とモロ・イスラム解放戦線 (MILF) との和平交渉がマレーシアのクアラルンプールで 2 日間にわたって行われ、3 月末に再度交渉を行うことで合意した。

(2011. 7. 27 ジャカルタ事務所 高橋健一)